

2025年度常設展第2期

せい た ん ね ん い わ さ き か つ ひ ら

生誕120年 岩崎勝平

展示をたのしむ ワークシート

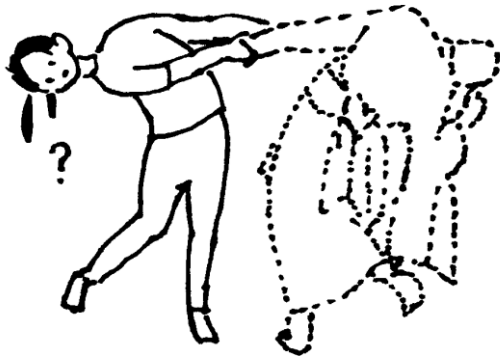
なまえ：_____

1

《夏》(1931年)に描かれている人と同じポーズをしてみましょう。

(ポーズをとるのがむずかしい人は、頭の中でやってみましょう)

それから、あらためてこの作品を見て、どんな感想を持ちますか。



かんそう

2

《島の軽子達》(左)と《式根の浜》(右)はよく似た作品です。

似ているところ、ちがうところを、できるだけたくさんあげてみよう。



岩崎勝平《島の軽子達》 1936年



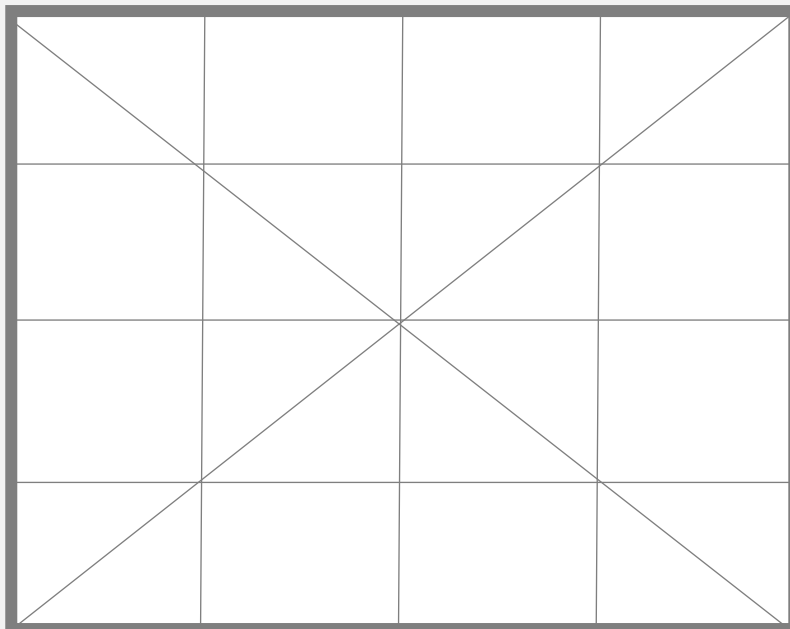
岩崎勝平《式根の浜》 1935年

似ているところ：

ちがうところ：

3

かつひら 勝平さんは、画面にタテヨコナメの線(補助線)を引いて、どこに何を描くかを考える人でした。
 しょうけい 《小憩》(1936年)をよーく観察しながら、下の補助線入りのワクのなかに模写してみよう。



4



しさく みちゆ 《試作(路往く)》の
 3人は
 どんな話を
 しているのかな。
 感じたままに
 セリフを自由に
 書いてみよう。

岩崎勝平《試作(路往く)》1938年

5



岩崎勝平《草の上》 1954年



岩崎勝平《胎動》 1954年

きょうてんじ 今日展示されているほうの絵に○をつけよう。その絵は、完成までどの
じかん くらい時間がかったかとおもいますか？ その理由も書きましょう。

かかった時間→ 1時間 1日 1週間 1か月 そのほか()
理由:

6

びょういんせいかつ おも で れんしゅう
《病院生活の思ひ出レントゲン》と、練習のためのたくさんのスケッチが
いっしょ てんじ さくひん ぶ ぶん わ
一緒に展示されています。作品のどの部分のスケッチか分かるかな？
かんせい さくひん み すなお かんそう した じゅう か
そして完成作品を見たあなたの素直な感想を、下に自由に書いてみよう。
てんじしつ ようい かんそう か うつ い
展示室に用意された感想カードにも書き写して、ポストに入れてね。



ふじんぞう がめん おんなひと かお て いちぶ えが
《婦人像(2)》は、ちいさな画面に女の人の顔と手の一部のみが描か
れた作品です。この女性は、画面の外でどのようなかっこうをしている
でしょう。そうぞうして自由に描いてみよう。



いわさきかつひら

岩崎勝平について

ねん げんざい かわごえしさいわいちょうう しりつかわごえしょうがっこう けんりつかわごえこうとうがっこう
1905年、現在の川越市幸町生まれ。市立川越小学校、県立川越高等学校の
そつぎょうせい どうきょう で げんざい どうきょうげいじゅつだいがく え べんきょう
卒業生です。東京に出て、現在の東京藝術大学で絵の勉強をしました。
じんぶつ えが じょうず あぶらえ えんぴつ が せいさく
人物を描くのが上手で、油絵、鉛筆画、パステル画などを制作しました。
ねん さい な
1964年、59歳で亡くなりました。

2025年度常設展2期「生誕120年 岩崎勝平」展示をたのしむワークシート

会期：令和7年6月26日(木)～9月15日(月・祝) 会場：川越市立美術館 常設展示室

発行：川越市立美術館 〒350-0053 埼玉県川越市郭町2-30-1

※掲載作品は、すべて川越市立美術館の所蔵です。